

子どもたちの学習支援「第2回登録者の集い」

学校現場で「特別支援教育」の要請急増！

副理事長 加藤 勇治

さる8月8日開催の「平成19年度第2回“登録者のつどい”」では地域交流の一環としての学習支援活動に関心の高い現役学生十数名も参加、学習支援活動のノウハウについて熱心な質疑があり盛り上がりました。学習支援委員会中沢委員長から、冒頭「本年度は現在市内51の小学校から学習支援要請があり、30校については支援が決まっているが、未支援校は21校にのぼっている。未支援校はいずれも特別支援教育を要請しており、特別支援教育への対応が急務である。」との報告がありました。次いで特別支援教育を実践されている川上弘一氏（福祉・12期）と上川道子氏（食文・10期）の両氏から、後掲の体験発表がありました。いかに支援校で喜ばれ、感謝されているか、また支援者自身もいかに教えられ元気づけられているかが生々しく語られ、示唆に富んだ励まされる体験談でした。

(注)特別支援教育とは、障害のある児童の自立や社会参加に向けて、その一人一人の教育的ニーズを把握して、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行なうものです。その教育補助をするということですから、一人一人の障害児との出会いを大切に、児童が安心して、生活を送り、学習に取り組める環境を整えて行くお手伝いをする事です。

学習支援活動に参加しませんか！

平成19年度に入り、神戸市内51の小学校から支援要請を受け、沢山の支援者が活動を開始していただきました。しかし、まだ支援に入れないでいる学校が、20校残っています。子どもたちに寄り添う活動を始めてみませんか。まだ支援できないでいる要請校は、次のとおりです。

【特別支援教育の補助要請校】

- (東灘区) 御影小、東灘小
- (灘区) 西灘小、西郷小、高羽小
- (中央区) 宮本小、湊小
- (兵庫区) 平野小、菊水小
- (北区) 鹿の子台小、有野東小
有野小、南五葉小
- (長田区) 駒ヶ林小
- (須磨区) 菅の台小、東落合小、
高倉台小
- (垂水区) 舞子小、多門南小
- (西区) 糀台小

*支援を考えてみようという方、やってみようと思う方は取り敢えず、次の照会先に相談してみてください。

【支援についての照会先】

グループわ 学習支援委員会
中沢保夫・加藤勇治・増金み子
電話：078-743-8101
FAX：078-743-3830
特別支援を行っている仲間と一緒に体験してみませんか！

渡辺 寛治(国際・10期)
特別支援の実情が掴めず二の足を踏んでいる方のために、「百聞は一見に如かず」現場で体験ボランティアに参加されては如何でしょうか！希望者は上記に連絡ください。

学習支援活動の2年間

川上 弘一(福祉・12期)



平成17年9月から自宅近くの本山第3小学校で学習支援活動をスタートしました。初めは、担任の先生と連携がうまくいかず、教室の後ろでクラスの様子を見ているだけといったこともありました。

平成18年3月の春休みに校長先生から「自分も複数教員として授業に参加した頃、ただボーと立っていた

こともあったからよくわかる。社会経験豊かな方が教室にいてもらうだけで有難い。」との話があって、以降わたしの役割が分からない時は校長のいわれた「いるだけでも良いのだ」という言葉を噛み締めて来ました。平成18年4月から主として2年生と1年生のクラスのサポートになりましたが、2学期にこれまでと変わったことが2つありました。1つは2年のあるクラスの子どもが「先生給食一緒に食べないの」といってくれ、それがきっかけで、クラスで子どもと一緒に給食をとるようになったことです。もう1つは「2年生全体での生活の授業で話をしてほしい」と言われ、私が毎朝登っている近くの山(保久良山といいます)について話したことです。45分間退屈させないように写真を50枚ほど用意して出来るだけ子どもと会話しました。質問も沢山で、後から4クラスの子どもからお礼の手紙も貰いました。平成19年4月から私への連絡はなかよし学級の先生が担当されることになり、特定の子どもを対象に特別支援教育を手伝っています。授業についていけない子ども、45分が長すぎる子ども、さまざまです。私はそっとその子どものそばでヒントを与えたりして勉強をサポートしておりますが、受けいれてくれる子ども、まだ受け入れてくれない子どもいろいろです。今振り返ってみて

1. 先生は本当に真剣に教育に当っておられ、教育とは本当に大変な仕事だということ。
2. どんな子どもも頑張っていると、そこを見つけてエールを送れば更に頑張るとのこと。(学校では朝と休み時間、グラウンドで子ども達が鉄棒、吊り輪、一輪車、フラフープ・・・ありとあらゆることに挑戦している様子に出会います。ちょっと立ち止まってその子の頑張りをしているだけで、その子はそれに気づき、一層頑張ります。)以上の2点を改めて実感しました。この機会が与えられたことだけで
(次のページに続く)